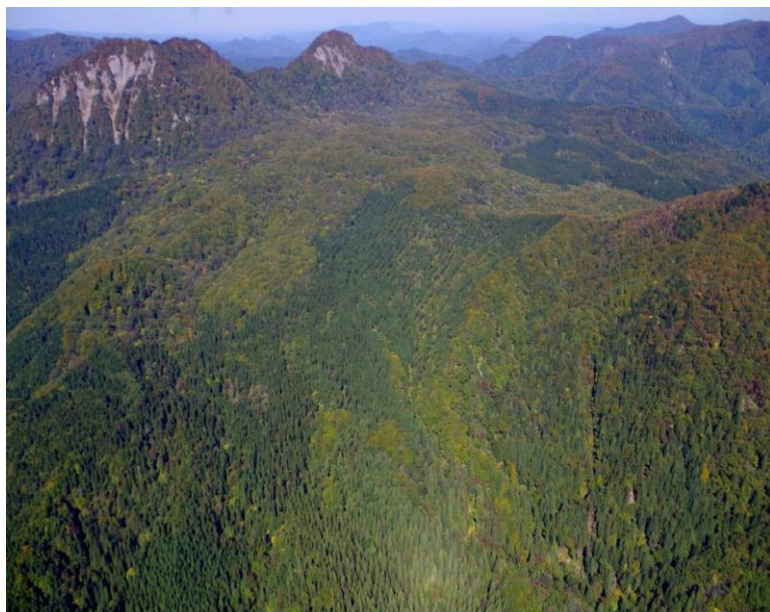


令和8年度 山形森林管理署最上支署の概要



前森団地とは、かつては旧陸軍の軍馬場として使用された土地を、大正11年林野局（現林野庁）に移管され、昭和3年～12年までの9年間で約600haが植栽され、100年生以上の高樹齢材をはじめとする多様な木材を安定的に供給できる木材生産団地を目的に施業が行われています。

前森団地（60～150年伐期の約600haスギ人工林団地）男甑山〔上左〕女甑山〔上中〕【真室川町及位】

山形森林管理署最上支署 位置図



春の最上川【戸沢村】



水源地域（神室ダム）の国有林【金山町】



最上支署の概要

◆森林計画の特徴

最上地方は、山形県の北東部に位置する森林の豊かな地域で、古くから木材利用が盛んです。また、良好な自然環境も色濃く残しており、希少猛禽類であるイヌワシなどの多様な野生生物も生息しています。

区 分	面積 ha	比率 %
区域面積	180,323	
うち森林	143,326	79
民有林	36,938	26
国有林	106,850	74



特別天然記念物ニホンカモシカ



クマタカペア



イヌワシ

◆管内国有林の特徴

国有林は管内の森林の74%を占めており、最上川各支流の源流部など重要な水源地帯に位置しています。また、里山地帯には一定のまとまりを有するスギ人工林が造成されています。

最上地域は、元来、県内で最も林産業が盛んな地域であり、さらに、ここ数年は、豊かな森林資源を背景に、大規模な木材加工施設の新設や木質バイオマス発電施設の建設などが相次ぐなど、木材の需要拡大に向けた動きが加速化しています。

このため、国有林においても立木・素材販売などを通じて、林産物の安定供給に努めています。



高齢級スギ（前森スギ）



木材生産（真室川町の国有林）

◆管理経営の方針

栗駒国定公園をはじめ、最上川県立自然公園、加無山県立自然公園などがあり、豊かな自然環境が保全されているブナ天然林などの森林も多いことから、これらの維持管理に努めています。

里山を中心に管内の約1/4がスギ人工林となっており、適切な保育とともに利用段階にある木材の安定供給に努めます。

また、森林施業の実施に当たっては、管内に広く生息している希少猛禽類のイヌワシなどの生息環境に配慮しています。

管内国有林は全体として最上川支流の重要な水源地帯となっていることから、水源涵養機能の発揮が図られるよう、森林資源の充実に努めています。



神室ダム湖畔の森林【金山町】



下刈（筋刈）全景【真室川町】



スマート林業検討会【金山町】



甌山開山式典【真室川町】

◆機能類型別面積（令和８年４月現在）

（単位：ha）

区 分	計	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ
人工林	26,388	2,718	152	175
天然林	77,670	26,803	12,668	3,731
その他	2,792	1,113	1,154	49
計	106,850	30,634	13,974	3,955
区 分	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ		
人工林	0	23,343		
天然林	0	34,468		
その他	0	476		
計	0	58,287		

◆資源内容（令和８年４月現在）

（単位：千 m^3 ）

区 分	計	針葉樹	広葉樹	資源内容等の特記事項
人工林	7,610	6,678	932	
天然林	8,145	380	7,766	
計	15,756	7,058	8,698	

◆主要事業予定量（令和8年4月現在）

収穫量	253,584 m ³	主伐	152,015 m ³	間伐	101,569 m ³
生産量	50,000 m ³				
販売量	立木	121,779 m ³	製品	50,000 m ³	
更新面積	61 ha	人工造林	61 ha	天然更新	0 ha
林道新設量	0 m				
治山事業量	国有林野内直轄	416 百万円	民有林直轄	433 百万円	

◆歳入状況（令和8年4月現在）

款・項	科 目	令和8年度（予定）
官業収入	立木竹売払代（製品売払代含む）	514,485
国有林野事業収入	分収育林収入	4,050
	林野売払代	1,000
	土石売払代	
	土地等貸付料	14,828
	森林空間総合利用事業収入	577
	計	534,940

◆民有林と連携した森林整備の推進



共同施業団地運営会議・情報交換



森林経営管理推進協議会【戸沢村】



県・市町村・林業事業体、採材検討会
【最上町】



労働災害防止協議会
【労働基準監督署の安全指導】

◆最上支署管内の見どころ

管内には、最上地域を代表する巨木やスポットがたくさんあります。



滝ノ沢の一本杉（真室川町）

（幹回り 11.58m）

かつて地際に大きな「うろ」があり山の神が祀られていましたが、樹勢の回復とともにうろが閉じ、今では祠（ほくら）が幹の中に完全に取り込まれています。

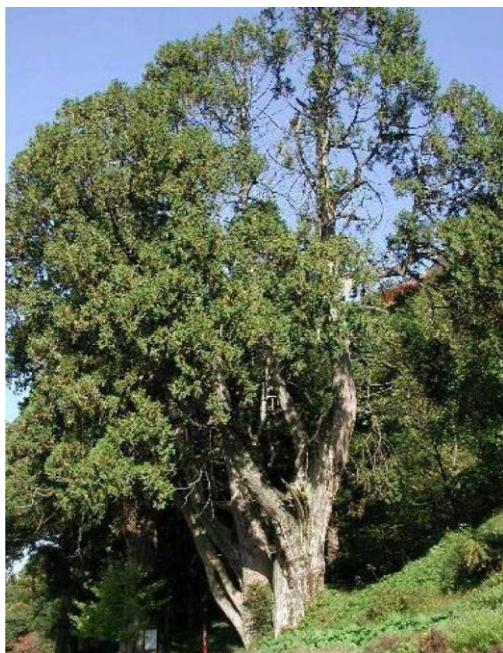
林道終点からご覧いただけます。



めこしき
女甕山の大カツラ（真室川町）

（幹回り 13.4m）

女甕山の麓のブナ二次林の中にある巨木です。林道終点の歩道からおおよそ 15 分です。



いわがみだいごんげん
岩神大権現のクロベ（大蔵村）

（幹回り 12.2m）

もともとは稜線部に生えていた木でしたが、地すべりとともに落ち、現在の場所に定着したといわれています。株立ちでは日本一の太さともいわれています。

道脇にあります。



権現山の大カツラ（最上町）

（幹回り 20.2m）

幹回り日本一と目されるカツラです。歩道はありますが急なので注意が必要です。



幻想の森（戸沢村）

全国でも珍しい特異な形をした天然スギ「山之内スギ」が群生しています。林道終点からご覧いただけます。

他に中々例を見ない樹形は独特な雰囲気醸し出しており、比較的アプローチしやすい地の利であることから、格好の被写体となっております。



与蔵峠風景林（鮭川村）

与蔵峠は旧登山道の道標となったブナの巨木や、与蔵沼、まぼろしの滝群などがあり、トレッキングコースとして親しまれています。



地藏倉風景林（大蔵村）

開湯 1200 年の歴史をもつ肘折温泉の地藏盛山の中腹には、山肌の断崖をえぐったような洞窟にお堂があります。

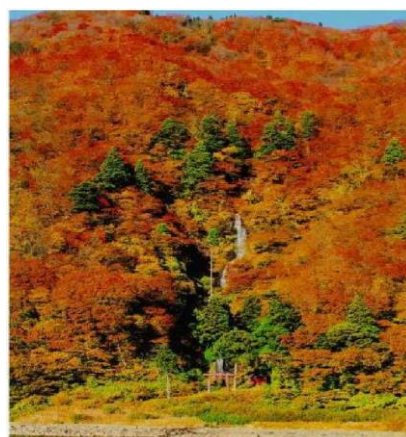
「地藏倉」は縁結びや子宝、商売繁盛の神様として信仰されております。



山刀伐峠風景林（最上町）

山刀切峠は、松尾芭蕉が辿った「奥の細道」の難所として知られています。

周囲はブナを主体とする広葉樹天然林で、四季の変化と眺望に富んでいます。



最上川風景林（戸沢村）

落差 120m の「白糸の滝」です。

※最上川舟下りは「プロが選ぶ第 5 回観光船 30 選」で全国 1 位となりました。

かむろさん

神室山 (1,365m)

栗駒国定公園に位置し、みちのくアルプスの主峰で、日本 200 名山の一つです。東西南北からバラエティーに富んだ多数のルートがあり、神室山系には他にも小又山、火打岳、一杯森などの山々が連なっています。

はやま

葉山 (1,462m)

頂上付近に神社（葉山神社）が鎮座する信仰の山です。頂上からは月山、鳥海山、御所山、蔵王が一望でき壮観です。また、麓のブナ林の素晴らしさも格別です

かぶやま

加無山 (1,462m)・甑山 (981m)

標高は 1,000m 以下ですが、急峻で険しい岩山です。

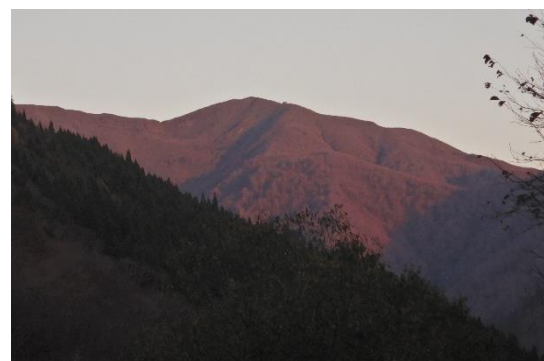
もくぞうやま

杣蔵山 (1,027m)

新庄市の裏山的存在で、テレビ塔が沢山建っています。渓谷、お花畑など見どころが多い山です。



【新緑の杣蔵山（新庄市）】



【夕暮れの神室山（金山町）】

【コラム】令和7年度 国有林内の行事から



農林大学校生への国有林講義



真室川町立北部小学校での出前授業



塩根川学校の森・山形県
合同木工づくり（遊々の森）



真室川中学校、MARU-JOB WORK

◆地域の安全・安心を守る治山事業

大蔵村の銅山川流域の民有地に 328ha に及ぶ大規模な地すべり地帯があり、民有林直轄地すべり防止工事を平成4年～令和8年にかけて実施しており、今年度概成を迎える予定です。

排水トンネル工、集水ボーリング等を立体的に組み合わせ、高度な技術を要する立体排水工により、地すべり活動の最大の要因である地下水を排除し、地域の安全・安心に貢献しています。

また、管内の国有林においても、治山ダムの溪間工や山腹工等を計画的に実行しております。



銅山川に面した地すべり末端部



民有林直轄事業（排水トンネル）



山 腹 工



溪 間 工

◆木材供給、地域振興

当支署ではスギ人工林の間伐材等で生産された、一般材、集成材については地域の製材工場を中心に計画的な供給を図り、合板用材、チップ材にあたっては県内外の工場へと供給しています。

また、令和4年度より高齢級高品質材「**高** **国** 前森スギ」の販売に取り組んでいます。



高齢級スギの生産



前森スギ製材品（サンプル）

◆民有林関係

山形県内では最も林業生産活動の盛んな地域であり、特に金山杉は全国にその名を知られています。林野庁の「最上・金山林業成長産業化モデル地域」に選定されています。

また、きのこ類など特用林産物の生産も盛んで、全国有数のきのこ生産地でもあります。

木質バイオマスエネルギー利用の取り組みも盛んである他、近年は大規模な木材加工施設が稼働しています。

◆人材育成支援への取り組み

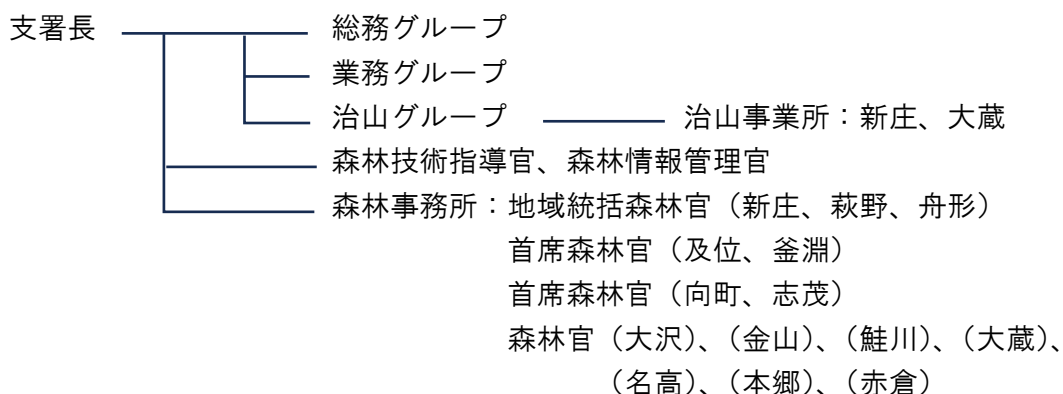
令和6年4月に開学した山形県立東北農林専門職大学と同年4月に人材育成に関する連携協定を締結しています。国有林内で実施される研究・調査フィールドの整備等の支援を行いつつ、同大学が企画する セミナー等にも参画して行きます。

また、附属農林大学校に関しても国有林の森林・林業に関する取組を講義形式で情報提供するとともに、各種検討会などの現場業務の研修にも参加していただいています。

◆管内の市町村

新庄市、金山町、舟形町、真室川町、最上町、大蔵村、鮭川村、戸沢村の1市4町3村です。

◆支署の組織構造



◆山形森林管理署最上支署の所在・連絡先

〒999-5212

山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

電話 (0233) 62-2122

FAX (0233) 62-2706



◆管内図



- 国有林
- 官行造林
- 森林管理署・支署
- 森林事務所
- 治山事業所